

Q

給湯器等の燃焼ガスの接触によりサッシの塗膜が剥離する？

A

プロパンガスや都市ガスを使う給湯器の燃焼ガスの排気口付近に取り付けたサッシやドア等のアルミ建材の塗膜が剥離して、極端な場合にはアルミ素地が腐食することがあります。

アルミ建材に接触するか、これらのガスが滞留しやすい建物部位に取り付けられたアルミ建材において発生します。

ガス給湯器などの排気ガスの成分には微量の硫黄酸化物が含まれ、燃焼時に発生する窒素化合物と共にアルミ建材の表面に付着し、これらが付着したまま結露と乾燥が繰り返されると、アルミ建材の塗膜表面で硫酸や硝酸となり、やがて濃縮付着し、塗膜剥離の原因となります。

【対策】

排気ガスが直接当たらないように給湯器等の排気口の向きを変更する等の根本的な対策が必要となります。

また燃焼ガスが滞留しないように、建築物の設計段階、建築設備配置の計画段階で給湯器等の排気口の向きの配慮が必要です。